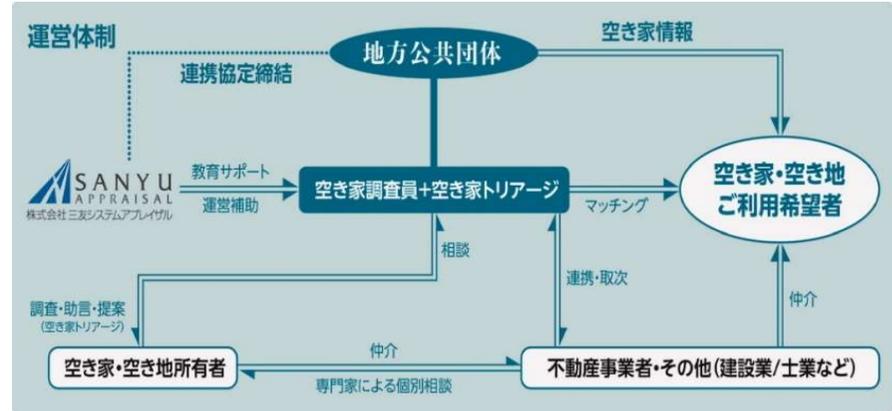
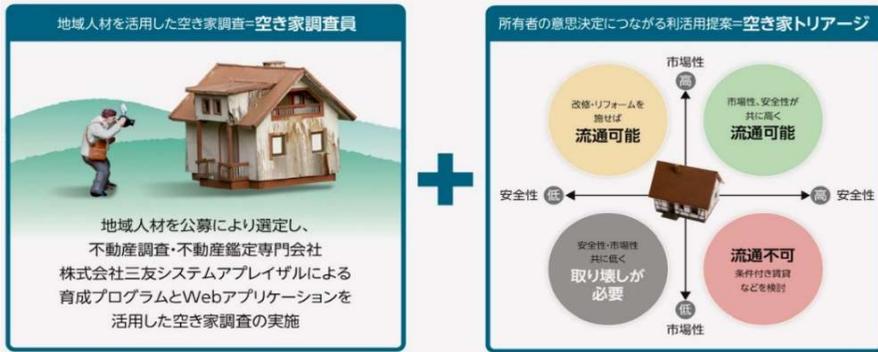


# 空き家調査員育成プロジェクト（株式会社三友システムアレイザル）

課題と目的	「空き家調査員育成 × 空き家トライージ = 空き家の資源化」 ～ 特色ある各地域において普遍的な仕組みを構築する。
取組内容	①地域人材を活用した空き家調査員を育成 ②地域専門家と、地域性、経済性を考慮した空き家トライージを実施 ③「空き家の資源化」の取り組みを広く公開（報告会の実施）
成果	①Webアプリケーションを使った「空き家調査システム」の開発・運用 ②新潟県佐渡市： 地域主導の「空き家調査員育成プロジェクト協議会」による実行 ③北海道鷹栖町： 鷹栖町の都市政策に適合した「空き家の資源化」の提案 ④調査員育成講座、空き家トライージ検討会、成果報告会の全てのプロセスを公開

## 調査員育成+空き家トライージにより、空き家を資源化します。



昨年(埼玉県毛呂山町)完成させた「空き家調査員育成メソッド」更新(教本+座学(理論)講習+実査講習)

Webアプリケーションを活用した調査プラットフォームを開発し、調査方法・調査手法の定着を一元管理

- ①空き家調査表(不動産概況・価格指標・行政インフラ調査)
- ②建物調査(対象部位28項目のチェックによる劣化判定)

**空き家トライージとは何か?**

- ・市場性・安全性ともに高く、流通可能⇒「**緑**」
- ・改修・リフォーム等を施せば、流通可能⇒「**黄**」
- ・条件付き賃貸などを検討、そのままでは流通不可⇒「**赤**」
- ・安全性・市場性ともに低く、取壊しが必要⇒「**黒**」

- 空き家トライージ検討項目(地域専門家)**
- ①地域特性 ②保有コスト ③取壊コスト ④売却見込額
  - ⑤修繕コスト ⑥リノベーションコスト ⑦利活用方法

◎空き家調査員(地域人材)による空き家調査  
↓  
トライージ検討項目

◎空き家トライージ(地域の専門家協力)の実施  
↓  
空き家資源化

◎空き家トライージによる「資源化プラン」の提案  
↓  
意思決定プロセスに関与

◎空き家所有者・地方公共団体の意思決定